

2016年1月

n e x t 通信

編集；南雲卓也
河合廉

第8回APS!!



■第8回APSレポート

■ARKの裏でこんなことやってました！

■河合コラム スケジュール ETC....



(株)アーケビルサービス
〒150-0036 渋谷区南平台町1-10-3F
TEL:03-5459-1560

第8回APSテーマ 「働く(しごと)ってなんだろう？」

「目的を持って仕事をしよう」

第8回目となるAPSは、仕事とは何かというテーマに沿って行われました。
小学生1万人に聞いた、仕事に対してのイメージは、「疲れる」や「大変」など、ネガティブなイメージにとらわれてしまいました。
参加者のみんなは、「生活の一部」や「やらないと、養っていけない」などの意見がありました。



目的を持って行動すると
どうなるの!?

レゴワーク！



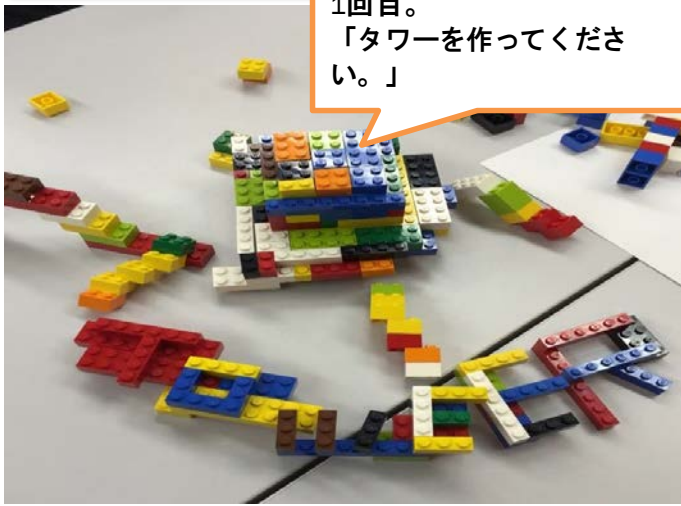
- ・ 4~5人で1グループとなります。
- ・ 1回目は何も指令も無いまま、「タワーを作ってください。」と言われます。
- ・ 2回目はどのようなタワーを作るのか、紙を渡され、それに沿ったタワーを作ります。

1回目と2回目ではどのような変化が起きるでしょうか。



目的を持つとどのような変化が？

1回目。
「タワーを作ってください。」



2回目。
「見ている人がワクワクするようなタワーを作ってください。」



1回目と2回目ではこのような違いがありました。1回目は正直、タワーなのか何なのかわからない部分があります。（笑）2回目の方では「ワクワクするようなタワーを作ってください。」と指令があったので、綺麗なグラデーションでしっかりしたタワーが作られています。「白を集めるね！」「じゃあ赤を集めます！」「いい感じだね！」など、**自然と会話も増え**、雰囲気良く作っていたのが印象的でした。目的があるかないかで、こんなにも違いが出てしまうものなのですね！

4人のレンガ職人の話

あるところに、レンガを積んでいる4人の職人さんがいました。その方々に「**何をしているのですか？**」と尋ねたところ、皆違う答えが返ってきました。そして、仕事の内容も変化があったようです。

人々の心を癒す空間を作っています

幸福感（感動・共感・ビジョン）を感じています。
感動を共感して取り組む。仕事の効率性は4.06

教会を建てています

責任感（役割）を感じて働いています。
自ら考え工夫して、やる。仕事の効率性は2.56

壁を作っています

興味（好き・関心）によって働いています。
意味を理解して取り組む。仕事の効率性は1.6

レンガを積んでいます

お金（生活のため）で働いています。
言われたことだけをやる。仕事の効率性は1.0

目的とは「何のために」にあたるものです。その目的を達成するために、目標を定めていきます。目的という的（まと）を射るために目標という標（しるべ）を定めていきます。目的がなければ目標は定まらないはずです。目的を持つことで、くじけそうになった時もそのことを考え、また立ち上がれる時がきっと来るのでしょう。

ARK（アーク）の裏でこんなことやってました！？



2015年11月23日 勤労感謝の日。

目黒雅叙園にて



ビルメンテナンス事業部のパートナーさんに向けた、勤労感謝パーティーが開かれました！



様々な賞も贈られました！



フード部も参加しました！

統括の松崎さんとクロス事業部の加賀谷さんによる歌のプレゼントも！



2015年度 株式会社アークビルサービス 従業員様
『感動を分かち合おう！～アークより感謝をこめて～』



今後のスケジュール

2015年12月

★忘年会シーズン
(各店繁忙期)

★マイナンバー提出締め切り

12月30日

★各店営業納め

2016年1月

★マイナンバー制スタート

★電雷 練馬店8周年

★第9回APS(予定)

1月2日

★各店営業初め

2月4日

★日本酒 立春朝搾りの流通

食材コラム ～ワイン～



世界最古のお酒

電雷PA世代には親しみがないかもしれないが、世界で最も飲まれ、ポピュラーなお酒と言えばワインだ。それもそのはず。ワインは世界最古のお酒と言われている。かつて人間が猿だったころ、木から落ちて腐ったブドウを食べたのが始まりだったそう。人間以前の祖先が飲んでいた(食べていた?)とは驚きの歴史を持つドリンクだ。

本ソムリエの活躍に期待!

ソムリエ本の誤植ではない。牛角旗の台店の本隆博店長が、このたび超難関と言われるソムリエの試験に合格したのだ! 本ソムリエの豊富なワイン知識とテイasting力は、ワインを扱う立川のみならず、各店で大きな力を発揮されることだろう。

目的指向のススメ ～今ここにいる理由～

人はなんのために働くのだろうか。そもそも私たちはなぜこんながんばって働いているのだろうか。

2013年に出た世界保健統計によると、日本人の女性の寿命が86歳、男性が80歳、男女平均が84歳で世界最長だったそうだ。医療の進歩はめざましい。おそらくこれが長くなることはあれど、短くなることはないだろう。20歳前後の私たちには今後65年以上もの長い人生がある。この中で、働く時間はどのくらいのものだろう。アークのフード部社員で言えば、休みは概ね月に6回で、どんなに短くとも一日の半分は仕事をしていると思う。そうすると、一年で293日の半分は仕事をしている。つまり、146.5日。年金支給の65歳まで働くとして、あと45年間。6592日、18年を労働することで、人生を費やすことになる。これは睡眠や余暇という時間を抜いた時間だ。実際はこれよりはるかに長い時間を働くだらう。私たちが定年のころには年金制度はおそらく破綻しており、体の動くうちに貯金をつくらなくては、として定年後も働き続ける。平均寿命は延びていく一方なので、中には定年という概念がないほど働かなくてはならない人生を歩むかもしれない。

アークで働くPAたちは大学生や専門学校生のPAが多い。学生最後の自由を謳歌しつつ仕事をしているのではないだろうか。社会に飛び出ていく前に、アークで働いているうちに、ぜひ考えてほしい。我々はなぜ、そこまでして働くのだろうか。働き続けるのだろうか。

なぜ働くのか。それはもちろん、お金のためだろう。日本ではまず、お金がないと生きていけない。食うにしろ、寝るにしろ、衣食住の根本を支えるのはお金である。では、お金さえ手に入れば幸せになれるだろうか。宝くじの高額当選者、5億だとか、6億だとかを得た人の、面白いデータがある。宝くじの高額当選者の90%は10年後に同じ生活に戻るのだそうだ。高額当選を果たし、家も、車も、食事も贅沢三昧できる身分である。お金を計画的に使えば、一生働かなくてもいい。そんな身分にあっても、気づけば自分を見失って浪費しすぎてしまい、失った分を取り返そうとして儲け話に飛びつき、散財して気づけば元の同じ生活を送ることになる。

フード部統括の松崎さんがアラブの石油王の話を見たと。一生使っても使い切れないうちにある石油王。彼に近づく人はみな笑顔だそうだ。家政婦であれ、執事であれ、友人であれ、あらゆる人は彼に献身的に尽くす。石油王はその名のとおり、王をやっていたらいい。そんな石油王にも寿命が近づく。そのときに彼は気づいた。自分の人生はどこか張り合いのない、やるせない人生であったと。自分の周りにいた人は、自分を慕ってきてくれるのではなく、自分の持つお金を見て近づいてきていたに過ぎなかったと。お金だけでは幸せになれない――。

どうやら、お金がなくては生きてさえいけないのはもちろんだが、お金があればあるだけ幸せ、とはいかないようだ。

では、お金以外になんのために働くのか。迷ったとき、未来に不安を感じたときに、自分の夢を思い出してみよう。おそらく就活をする上で、一度は面接官に将来のビジョンを語ると思う。これを書く河合も、本さんや社長に滔々と語ったことを今でも思い出せる。今ではそのビジョンは少し変わったが、独立して自分の店を持って、経済的にも精神的にも自立し、地域に根ざす店づくりをしたいという想いを抱いている。そのために今、立川店に心血を注いで仕事をしている。

夢を描けないという人でもいいと思う。仕事をしているうちに、これをやりたい! 達成したい! という想いのこもるものに会えるだろう。その達成のために打ち込んでいけば、自然と夢やビジョンになっていく。

夢やビジョンを見つけたとき、人はすでに幸福であるとかの偉人が言った。実際はそれに向かってあらゆる方面で努力していかなければいけないし、それは容易なことじゃない。こうして上から目線でものを語る河合も、いつも自分の弱さ・怠けに負けそうになるし、負けているときもある。そんな自分を律して、ビジョン達成に向けて明日も仕事に行く。

何のために仕事をするのだろうか。なぜこの仕事なんだろう。何億回とこの先思うことだろうが、その思考を止めずに向き合うことが、幸せへの第一歩なのだろう。